

絆



熊本県 高森町

熊本阿蘇「野の花と風薫る郷」

議会だより

6月定例会



風まる

No.93

令和6年8月発行

6月定例会	2
一般質問	4
常任委員会報告	9
第3回臨時会、第4回臨時会	10
町民の声	11

令和6年 第2回6月定例会

報告3件・議案8件を審議し全て原案のとおり可決した。

令和6年度一般会計補正予算(第2号)

2億2,010万7千円を追加

予算総額 69億9,910万7千円

国・県補助活用事業

自治体ライドシェア実装委託事業

- 自家用有償旅客運送制度を活用し、交通空白地の解消を図るため、実装を目指した調査及び実証実験を実施する。

現状と課題、
事業の目的

タクシー事業者の車両やドライバー不足が全国的に課題となっている。そのような中「自家用有償旅客運送制度」を活用し、課題の解消を図るため、調査及び実証実験を実施する。

事業
内容

自治体ライドシェア研究会と連携し、自治体の交通情報や住民の移動データの収集、アンケートの実施を行い現況の把握や需要調査を行う。調査の内容を踏まえ、実証実験を実施する。実証実験に必要な車両整備に係る委託料の増額を行う。

「共創・MaaSモデル実証プロジェクト交付金」を活用し、事業を実施する。

事業費

事業費総額 **2,500万円**
(当初予算額1,500万円 今回補正額1,000万円)

事業費	補助額	一般財源
2,500万円	1,833万円	667万円

高森峠園地改修整備事業

- 高森峠千本桜お花見広場周辺を整備する。

事業の
目的

昭和3年から高森町の観光名所とするために、桜やつつじが植樹され管理してきたが、枯れて見栄えが悪くなり、テングス病が蔓延している状態に対応が必要である。

令和2年3月に九十九曲がり活用検討委員会から提出された「町道城山線の活用に関する提言書」を踏まえ、整備を行い美しい観光地を目指す。

事業
内容

お花見広場周辺の①桜植替え、②維持管理
①伐採：高木(桜古木)29本、低木(つつじ)116本
植樹：桜91本
②除草作業(年4回)及び剪定・消毒作業(年1回)



事業費

事業費総額 **1,100万円**
※熊本県県民の未来につなぐ森づくり補助金活用予定

事業費	補助額	一般財源
1,100万円	250万円	850万円

令和6年6月定例会 主な質疑応答

議案第33号

高森町課設置条例の一部改正

質疑 「佐伯金也議員」

政策推進課のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進係でIT関係業務も担当すれば、他の商工、観光、町長政策等の各担当業務も含め、かなり繁忙となるため、条例改正後も総務課との連携が必要なのでは。

応答 「総務課長」

DX推進に関するPT（プロジェクトチーム）を立ち上げており、DX推進係が主体となり、総務課職員もPTの一員としてDX化を進めていく。

応答 「政策推進課長」

4月1日付けでDX推進係に2名配属された。PTに関連し各課局長で編成した上部組織もあり、総務課だけではなく全庁的にDX化に向け取り組んでいく。

議案第34号

高森町国民健康保険税条例の一部改正

質疑 「佐伯金也議員」

保険料が県内で統一された場合の負担増が懸念される。今後3年間で段階的に保険税率を引き上げた場合の具体的な試算は。

応答 「健康推進課長」

今後3年間で1人当たり1万5千円増となる。毎年5千円ずつ増額だが、世帯状況により異なる。

質疑 「佐藤武文議員」

①県が標準保険料を示し始めたのはいつからか。
②単年度収支が赤字の年度に予算が成立してきた理由は。

応答 「健康推進課長」

③令和12年度に各市町村の保険料率を統一する具体的な内容は。
①平成30年度国保制度改革から。

②前年度繰越金や第三者行為による戻入金、収納率の向上等が要因。

③まずは令和9年度に標準保険料率算定ベースで統一し、令和12年度に保険料率が県内で完全統一となる。

議案第37号

令和6年度高森町一般会計補正予算

質疑 「後藤巖議員」

子育て支援策PR委託料の具体的な内容は。

応答 「子ども未来係長」

高森町の子育て支援策をまとめた約20ページのハンドブックを5千部製作し、町内の子育て世帯や関連施設に配布予定。また、町独自の子育て支援策を県内に広く周知し、移住定住を促進するため、熊本日日新聞全面広告を1回、さらに子育て世帯向けフリーページに1ページ広告を3回掲載予定。

議決結果

議案番号	件名	議決結果
報告第1号	繰越明許費に係る繰越計算書の報告について	—
報告第2号	繰越明許費に係る繰越計算書の報告について	—
報告第3号	事故繰越しに係る繰越計算書の報告について	—
議案第33号	高森町課設置条例の一部改正について	原案可決
議案第34号	高森町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第35号	高森町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第36号	高森町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第37号	令和6年度高森町一般会計補正予算について	原案可決
議案第38号	令和6年度高森町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第39号	令和6年度高森町介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第40号	令和6年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算について	原案可決

町政を問う



後藤 巖 議員

■ 高森町役場における職員、職場の現状

■ カスタマーハラスメント

質問 職員の財務や法務など研修の現状を問う。

総務課長 毎年実施している新規採用職員向けの財政研修に加え、職員OBによる条例や行政用語の解説研修、人事評価研修、公文文に関する研修を5月に実施した。

特に民間企業から地方公務員となった新規職員が抱えるギャップを早期に埋めること、全体の奉仕者として責務や職責を認識し、スムーズに行政業務を遂行できるよう措置を講じた。

今後も積極的な受講を促していく。

質問 システムエンジニアなど専門職を含め、計画を持った人事採用の実施、新規採用職員のあるべき姿は？

町長 専門職としてシステムエンジニア、プログラマーなどができる専門職の必要性は職員が一番感じているかと。住民サービスや人口減少に対するサービスの施策として、生成AIの活用を舵を切るべきだと考えている。

就任当初から人材育成をしておけばよかったと後悔している。ただ行政ルールに縛られ、専門職として民

間のスキルだけを生かし育成させることは非常に難しい。給料は人事院勧告に基づき、条例で定めているため簡単に改正できないが、手当て対応するしかないと考えている。

役場全体で先を見て、専門の人材が必要だとすれば押しきってでも採用し育てていきたい。

新規採用については、いびつな年齢構成とならないように、4期目の政策集で掲げた中長期にわたる職員採用計画を策定したので運用していく。

質問 カスタマーハラスメントについての定義、不当要求規則等は制定しているか。

総務課長 高森町職員のハラスメントの防止等に関する規程を令和4年に制定している。職員以外からのハラスメント、特にカスタマーハラスメントに関する規程はない。全国的に大きな問題となっている本件について、本町も職員への負荷軽減や業務効率化の低下を防ぐため、「過剰な要望、要求」に関する対応要領を定め、運用を図る。

質問 カスタマーハラスメントを想定した対策は？

総務課長 「過剰な要望、要求」とは、一方的に役場を糾弾し交渉を有利に進めることが目的。説得を試みても理解度は極めて低く、正当性や必要性を説明しても平行線のまま留まる。

一定のラインを超える場合、案件に関係なく全職員が一体かつ一丸となり対応する。上司・担当・記録担当・観察担当など複数の職員で対応し、庁舎内で迅速に情報を共有する。

要領に基づく対応となるが、「過剰な要望、要求」の疑いを感じた場合、上司に報告することを徹底する。

町長 職員の人権を尊重すること、健全な職場環境、職員の健康維持を考え、対応要領を制定した。

当然、住民の方々と真摯に向き合い、質の高いサービスに心がけていくが、それを阻害する行動や行為に対しては、組織的に対応していく。そのためにも職員は常に冷静に対応していただきたい。

カスタマーハラスメントを感じたら、毅然と閉じこもるのではなく、すぐに上司へ相談することがスタートと考えている。

一般質問



■ 人口減少対策

佐藤 武文 議員

質問 人口戦略会議が発表した「消滅可能性自治体」に分類された高森町の現状について。

総務課長

人口戦略会議の分析レポートは、20歳から39歳までの女性の減少率に着目して分析されており、高森町は10年前と同様、消滅可能性自治体とされている。一方、南阿蘇村は、10年前から大きく改善し、自立持続可能性自治体とされている。近隣の町村間で、これほど大きな差が出たことに強く違和感を覚えるが、自治体が消滅することはあり得ないので、消滅可能性という言葉に一喜一憂するのではなく、今後本町ならではの施策を継続していく。

推進課長

令和2年度から令和6年度までを計画期間とする、第2期高森まち・ひと・しごと創生総合戦略に取り組んでいる。令和4年度末時点で、既に40項目中23項目で目標を達成し、達成率は約57%となっている。今年度は、次期第3期計画の策定に向けて準備を進めていく。

質問 自立可能自治体を目指すための移住定住対策、移住定住後のサポート窓口は。

推進課長

町独自の子育て支援策をはじめ、新築住宅建設及び中古物件の取得に対する補助制度も創設し、少子化対策並びに移住定住の推進を行っている。今後は、子育て支援策に関するハンドブックの制作、新聞や子育て情報誌への掲載をはじめ、町の移住や教育に関する政策についても幅広く全国にPRして、移住定住の促進を図っていく。県の移住支援金事業補助金を活用して、首都圏からの移住希望者の支援を行うこととしている。集落支援員が、移住定住者と地域コミュニティとのかけ橋となり、移住後のサポートを行っていくとらと考えている。

町長

今までの移住定住対策は、熊本地震後のアパート建設補助や空き家バンクの利用など十分効果が上がっている。いろいろな対策をとっているが、結果が出るまでは時間がかかる。継続して行うための財源の確保はできている。窓口の設置については非常にいい提案であり、すぐに着手できることだと思うので

庁内で検討したい。

人口戦略会議が消滅可能性という強い言葉を使い、さらに自治体名をリスト化して公表したことに非常に強い違和感を持っている。特に、若い女性の増減を基にしているのであれば、産めよ増やせよ、そのために自治体は頑張れよという無言の圧力としても捉えられるのではないか。結婚や出産は、人の選択であり、どう生きるのかという個人の尊厳に関わる大きなことになる。

消滅可能性自治体という根拠には、財政力などは含まれていない。本町では、強力な財政健全化を実現しており、これまでの取組を確実に進めていくこと、不安に思う必要はないということをお伝えをする。

町政を問う



高森町総合計画

武田 栄喜 議員

質問 高森町総合計画の周知が、本年度になった経緯は。

推進課 高森町総合計画後期基本計画の次期計画とし、令和5年度

から令和9年度末まで5年間を計画期間とした。町長4期目政策集をベースに、各部署で目標設定、まちづくりの継続性、新たな社会的課題について検討。令和5年度事業として、年度末までの業務委託により策定。結果、年度明けの概要版配布、周知となった。

質問 観光立町を実現するため、選ばれるまちづくりの効果的、集中的投資をしますとかがかかっている。今年度の高森峠園地改修整備事業は、各種桜を91本植栽予定だが今後の計画は。

環境生活課 高森峠園地改修整備事業は、お花見広場周辺に現在約

170本の桜があり、テングス病等の桜29本を伐採、新たに植える予定91本で、約230本の桜を管理する計画。お花見広場から高森峠頂上については、令和7年度以降に整備を考えており、本年度中に植栽本数等の算出をする。

質問 観光立町を実現するため、高森峠園地と他の地域をリンクする必要があると思う。町長の考えは。

町長 高森峠は、町民にとってかけがえのない観光地の1つ。担当課が答弁したとおり、来年度以降の整備も考え、本年度中に全ての計画を作り、町民に分かりやすく広報する。観光立町を実現するためには、選ばれるスポットを町内全体に増やし、そこをブラッシュアップする。

現在、グリーンツーリズム事業で、様々な地域をバックアップしている。**町長質問** 議員の地元である、倉田桜公園も選ばれる観光スポットにするためどうすればいいか、参考意見を伺いたい。

武田答 観光立町を実現するためには、点在する町内観光スポットどうし、1次産業等の異業種、周辺市町村観光地、概ね3つのリンクが今後必要不可欠だと考える。倉田桜公園周辺は、草部吉見神社等の歴史的遺産群、地域風土等を展示する草部郷土資料館、棚田など自然豊かな日本

の原風景がある。倉田桜公園は、多種多様な植栽で全シーズン楽しめる

るスポットに強化する。草部郷土資料館は、展示物を精査し、社会教育等に寄与できるようにする。歴史的、神話的背景を鑑み高千穂町と草部吉見神社をリンクさせたなら面白いスポットになると考える。



草部郷土資料館



お花見広場

一般質問



- 避難所等における避難者への支援
- 通信環境の整備

児玉 幸之助 議員

質問 高森町防災計画における通信手段の確保等について、その位置づけは？

総務課長 高森町地域防災計画では、通信設備利用計画について明記している。災害が発生した場合、気象予報警報や被害状況等の情報伝達方法を、防災行政無線、たかもりポイントチャンネル、トランシーバー等を用いる。また、通信設備の利用が不能になった場合は、警察通信設備を利用。すべての設備が途絶した場合、NTT等に対応を依頼、定期的に状況を問い合わせ、当該施設が直ちに復旧できる場合を除き、使用者をもって連絡することになっている。

質問 過去の災害発生時（熊本地震等）の通信環境の状況は？

総務課長 熊本地震時は移動アンテナにより通信を可能とした。家庭用WiFi等、ルーターを設置した光通信等については停電時、使用不可となる。情報収集や情報発信に必要な手段であることから、災害時、通信環境の確保は必要不可欠であると考ええる。

質問 令和4年度に実施した避難フェスの状況について。

健康推進課長 42か所の公民館に避難された方は合計807名。役場職員や消防団員を合わせると、参加人数は1,000人以上となった。町全体で開催し、町民の6人に1人以上が参加し、かつてない大規模な避難訓練となった。

質問 避難所の駐車場等における通信環境を確保するための新たな対策について。

総務課長 公共施設に屋外対応無線アクセスポイントを設置し、電源喪失への対処も可能であることからサービスの提供を検討していく。

町長 今年度からKDDIが開始するスターリンクと、2026年度からNTTドコモがHAPS（ハップス）というサービスを提供する予定。上空から地域携帯エリア化するということ。人口が少ない山間地域に対して、通信サービスを担う。今まで通信困難だったところも通信できるようになる。課題としては、大容量の通信がサクサクいくのかが一番気になる点と思っている。そういうサービスを自分自身でも見て、しっかり、町民の皆様にも広報していく。



町政を問う

■ 多様性が進む社会において、自治体が果たす役割と問題点

■ 朝6時の音楽がなくなった



佐伯 金也 議員

質問

多様性というものが各事業所であったり会社であったり、影響を与えるが、地方で見ると、自治体が一番受けるのではないかと考える。たとえば学校現場での多様性の対応について、どのように考えているか伺う。

教育長

第四次高森町新教育プランにおいて、多様性の対応というのを一つの大きな目標に掲げている。

質問

保護者より、中学校では制服やカバンについて悩みがある。教育の現場として制服、カバン等について、どのように対応して行くのか伺いたい。

事務局長

令和4年度に生徒と保護者に対してアンケート調査が実施され、制服検討委員会を組織し新しい制服の準備に着手することが決定している。

質問

高齢者の方で、防災無線の朝6時と夜8時の音楽がなく、特に朝6時については、ある方が良いという声が多に多い。防災無線設置以来続いていたものが、なぜなくなったのか。

総務課長

昨年末をもって午前6時と午後8時の時報を廃止した。事

前に駐在嘱託員会議においてお諮りし了承を得ている。

防災無線を情報としてとらえる方、騒音としてとらえる方もおられる。騒音と感じている方に対して流さない方法も最善の策であると捉え、アンケート等をとらず廃止した。

質問

設置以来続いていた音楽を聞けなくなったことにより体のリズムを崩す方達もいることを知ってもらいたい。何十年もやって来たことを変えるなら、アンケートでもとってやって行く必要があったのではないか。

町長

学校の課題については、制服等について、しっかりと議論して決めたことに関しては最大限支援する。

防災無線については、駐在嘱託員会議で説明をしている意見を聞いた。現在、朝6時の放送をしている自治体は県内で8自治体、午後8時は4自治体になっている。全員アンケートは難しい問題。永く続いて来たことを変えるときは丁寧にするべきだろう。一旦預かり、役場内でどれがベストか判断させていきたい。



制服提案Bスタイル



制服提案Aスタイル

総務文教常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

6月4日、常任委員会を開催。新体制になった各課の状況や6月定例会 upper 程予定の議案、現在進行中の事業の説明を受けた。

7月13日、南阿蘇鉄道高森駅で全線復旧1周年事業開催内容や、国民健康保険税が収納額1億以上の県下自治体で収納率がトップであるなど説明を受けた。

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「高森町課設置条例の一部改正」「令和6年度高森町一般会計補正予算」について各担当者より詳細に説明を受け審議した結果、付託されたすべての議案を可とした。

◎議案第33号 高森町課設置条例の一部改正について

【主な質疑内容】

質 高森町課設置条例の改正により、どのように変化するのか。

● 総務課担当の「電算組織の管理運営に関する事項」を政策推進課へ移す変更である。新たに「DX係」を設置し対応する。

情報漏洩など情報管理のレベルが上がってきており、慎重に取り扱っていくように意見が出た。

◎議案第37号 高森町一般会計補正予算について

質 不法投棄回収作業委託料の計上と現状。

● これまでは生活環境課にて投棄物の回収を行ってきたが、重機を使わなければ回収できない箇所が3カ所あり、重機のレンタル料である。

回収状況を録画しTPCにて流すことで、不法投棄禁止へ啓発を望む。

質 千本校園地改修整備工事、お花見広場維持管理業務委託について。

● 老朽化した桜、松、つつじ類を伐採、91本の桜を植樹する。高森峠及び公園復活の第一段階となる。今後の進展と維持管理について計画を作ること、活用は政策推進課が委員会からの答申を元に検討していくことを要望した。

産業厚生常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

5月30日、産業厚生常任委員会を開催し現地調査及び事業説明を受けた。

☆町道天神・月廻り線

☆町道西原・前原線

☆町道西原・日ノ尾峠線

☆国民健康保険税条例の一部改正について

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和6年度高森町一般会計補正予算」「令和6年度各特別会計補正予算」について、担当課より詳細な説明を受け審議した結果、すべてを可とした。

◎議案第37号 令和6年度高森町一般会計補正予算について

【主な質疑事項】

質 施設園芸産地緊急発展事業補助金とは。

● ビニールハウスの張替えを県の中古ビニールの活用補助を受け事業を行うもの。今後においては、十分な事業周知や農家の要望に添えていただきたいとの

意見が出た。

質 「未来のまちづくり事業継承基金」活用事業の子育て支援策PR委託料について。

● ハンドブックの制作、新聞や子育て情報誌で町の子育て支援策の内容や魅力、子育て環境をPRすることも大事であるが、移住・定住を推進するため、県内にとどまることなく国内に広くホームページやインターネット等の活用も検討されたいとの意見が出た。

質 ふるさと応援基金「活用事業」で、訪問介護事業所（ホームヘルパー）を支援とは。

答 町に1つしかない訪問介護事業所（ホームヘルパー）を支援するため、車両を購入し無償貸与する。

委員会終了後、午後から事業の進捗状況を確認するため現場確認を行った。

令和6年 第3回臨時会

議案1件を審議し、原案のとおり可決した。

工事請負契約の締結について

議案第31号 高森町多目的広場整備工事（照明施設整備）請負契約の締結を可決しました。

契約金額 6,897万円

(令和6年4月17日)

令和6年 第4回臨時会

専決処分7件、議案1件を審議し、原案のとおり可決した。

令和5年度一般会計補正予算(第9号)

1億1,309万6千円を追加

予算総額 88億8,312万1千円

※主に各事業の最終調整と、ふるさと応援寄附金・企業版ふるさと納税の増額によるもの

議案番号	専決処分内容	結果
承認第1号	高森町税条例の一部改正	承認
承認第2号	高森町国民健康保険税条例の一部改正	承認
承認第3号	令和5年度高森町一般会計補正予算	承認
承認第4号	令和5年度高森町国民健康保険特別会計補正予算	承認
承認第5号	令和5年度高森町後期高齢者医療特別会計補正予算	承認
承認第6号	令和5年度高森町介護保険特別会計補正予算	承認
承認第7号	令和5年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算	承認

令和6年度一般会計補正予算(第1号)

900万円を追加

予算総額 67億7,900万円

「高森町将来をになう人材育成基金」活用事業

議案第32号 高森町次世代定住促進奨学資金貸付制度による貸付希望者が当初見込み（当初予算額600万円）から大幅に増加したことにより増額補正するもので、原案とおり可決した。

町民の声



桐原 勝幸さん
(高森・村山)

私は、村山地区に住む桐原勝幸といます。
農家をやっています。高森町のブランドにも登録されているヒゴムラサキ（ナス）30aと米2haを家族で作っています。

家族は、妻と子ども3人、弟と祖母の7人で住んでいます。
子どもは長男が高校2年生、長女が中学2年生、次男が小学5年生です。



子育てに何かとお金がかかる中、入学金、修学旅行代など、高森町のパママ応援事業の経済支援策には大変助かっております。長男の高校入学と長女の中学入学が重なった際には、この支援策の有難さをすごく実感することができました。光熱費や物価が高騰している中での支援は、子育て世代としては、高森町はかなり住みやすい町ではないかなと思います。今後も是非継続してほしい政策です。

最初に言いましたが、私は農家をやっていて、年々イノシシや鹿などの被害が増えてきている気がします。祖母がやっている家庭菜園や田んぼは毎年荒らされています。家が山に近いので、夜には庭先まで毎日鹿がやってきて動植物園状態です。なかなか自分たちでは動物を殺傷することもできませんので困っています。猟師の方も高齢化や、新しくなろうという方も少ない現代なのでしょうが、何かいい解決策でもあればいいなと思っています。

村山地区もかなり道路が整備されてきていますが、農業機械の大型化に伴い、まだ整備されていない道路、農道なども整備していただけると助かります。

高森町の子育て支援事業

結婚

結婚新生活支援
(住居費、引越し費用助成)
こうのとり支援
(不妊・不育治療助成)

妊娠・出産

出産・子育て応援給付金
(妊娠5万円、出産5万円)
出産祝い金
(1子5万円、2子10万円、
3子以降20万円)
産後ケア
(利用料無料)
子育てスタート用品レンタル
(4万円まで助成)

乳幼児

子ども医療費の助成
(高校生まで)
おたふくかぜワクチン助成
入園祝い金 (2万円)
保育料・副食費の無償化
在宅育児支援手当
(月1万5千円)

小・中・高

入学祝い金
(小学校5万円)
進学費用助成金
(中学校10万円、高校15万円)
修学旅行費の全額助成
(小学校・中学校)

下段は令和6年度より事業開始分

子育て安心医療相談事業
(スマホから産婦人科医や
小児科医等に無料相談)
産前・産後ママ
食生活向上サポート事業
(月1万円まで食材配達)
産婦健康診査助成金
(1回につき5千円、
1人2回まで可能)

次世代定住促進奨学資金
貸付制度
(高校月額2万5千円、
大学月額5万円)
※返還免除制度あり

担当課：住民福祉課（結婚から乳幼児まで）

担当課：教育委員会
(小学校から高校まで)

たかもりっこアプリ
(母子手帳アプリ)



母子保健専用
SNS・相談窓口

LINE



メール



高森南鉄フェスタ開催

7月13日、南阿蘇鉄道高森駅にて南阿蘇鉄道高森駅周辺整備完成記念式典及び全線開通1周年記念イベントが南阿蘇鉄道(株)・高森町の共催により開催されました。来賓として馬場参議院議員、亀崎県副知事、山口県議会議長、沿線各自治体首長、南阿蘇鉄道にぎわい創出実行委員長、(株)ヌーブ、(株)竹内工務店など多くの来賓が参加されました。式典終了後は高SPO高森吹奏楽団の華やかなオープニングからステージイベントが開始され、駐車場では地元の味自慢が集合し、賑やかな一日となりました。

整備された高森駅は爽やかな風が吹き見晴らしもよく、休憩場所として最適かと思えます。

1年前に全線復旧した南阿蘇鉄道が持続可能な鉄道であるために、町民の皆さまもぜひご利用ください。



議会の動き

	期 日	内 容	場 所		期 日	内 容	場 所
3月	26日(火)	高森町教職員退任式	高森町	5月	6日(月)	天草・阿蘇横軸連携10周年記念式典	熊本市
	29日(金)	南阿蘇鉄道沿線地域公共交通活性化協議会	南阿蘇村		14日(火)	熊本県町村議会議長研修会	熊本市
4月	1日(月)	高森町教職員新任式	高森町		18日(土)	高森中・東学園体育大会	高森町
	9日(火)	町立学校入学式	高森町		21日(火)~22日(水)	熊本県町村議会正副議長要望活動	東京都
		産業厚生常任委員会視察	高森町		24日(金)	高森町商工会通常総会	高森町
		阿蘇郡市議長会総会	阿蘇市		25日(土)	高森中央小運動会	高森町
	12日(金)	高森町商工青年部通常総会	高森町		27日(月)	国道57号整備促進期成会総会・中九州・地域高規格道路推進期成会総会	菊陽町
27日(土)	高森高校体育祭	高森町	29日(水)		主要地方道矢部阿蘇公園線整備促進期成同盟会	山都町	

編集後記

梅雨も明け暑さが本格的になってまいりました。

各地で夏祭りが開催され、楽しいかけ声や歌、音頭で賑わっていました。

暑中見舞いの時期でもありますので、どうぞご自愛ください。

次号より町民の声をリニューアル致します。乞うご期待ください。 後藤 巖

議会広報特別委員会



議 長 牛嶋津世志 (発行責任者)

委員 長 後藤 巖 副委員長 児玉幸之助

委 員 白石 豊和 委 員 武田 栄喜